

6月は梅雨の季節です。雨天での運転が増えます。  
撥水剤などで視界の確保を。タイヤの溝もチェックしましょう。

スマートフォンでQRコードを読み込むと、DVDと同じ映像をインターネット経由でご覧いただけます。

この用紙は両面印刷でご使用ください。(表)



ざっぱあああああん！！



この映像の訴求ポイントは…

- ◎ゲリラ豪雨の際は外出を控えましょう。
- ◎アンダーパスに注意！冠水路には絶対に進入してはならぬ。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

---



---



---



理解不能の車線変更



この映像の訴求ポイントは…

- ◎車線変更を繰り返して得られるのは？5分早く出発しよう。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

---



---



---



でた～飛び出しぼうや！・・・危機一髪！



この映像の訴求ポイントは…

- ◎歩行者・自転車は飛び出すものと心得よう。
- ◎再発進時に両サイドのミラーをチラと確認するクセを。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

---



---



---



衝突寸前



この映像の訴求ポイントは…

- ◎車列の間の通り抜けは、見通しの悪い交差点と同じです。
- ◎最良の選択肢は…車列がなくなるまで待つ。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

---



---



---



恐怖のスネーキング！ドライブレコーダーに救わ...



この映像の訴求ポイントは…

- ◎合流地点での駆け引きは事故の元。



類似の事故防止にあなたが重要と考えられることを書き出してみてください。

---



---



---

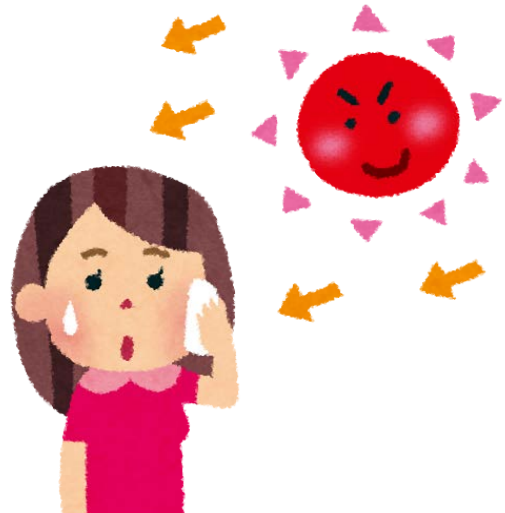
**【コラム】車内で脱水症状？エコノミー症候群にご注意を**

これからの時期、夏休みなど自動車ドライブにお出掛けする機会が増えてくると思います。しかし、道路が込み合い慢性化する渋滞の中で、自動車の車内では気が付かずに過酷な状況に陥っています。

渋滞する車内では「エコノミー症候群」を誘発する飛行機の中と環境が似ています。

エコノミー症候群とは、客室内の乾燥によって体内の水分が失われ、血液がドロドロになって血栓が出来やすい状態になることと、長時間の一定姿勢とが相まって、脚の裏側に静脈血栓が出来ることから、その状態で血栓が肺の血管につまり呼吸困難などを引き起こすものです。これと同じような状況は、乾燥した車内での同一姿勢を維持しておこなう長時間運転においても起こることが知られています。

走行中の車内では、運転者だけでなく、同乗者もシートベルトによって座席に固定された姿勢で座りっぱなしです。また、夏場は、自動車の前後左右の窓から日差しを浴び続けますから、体温の上昇や体内から水分も失われやすい環境となります。もともと人間は、汗や呼吸などから失われる水分を合わせると、大人の場合で1日に約一日1リットルの水分を自然に失っています。これが夏場の渋滞中の車内になると、その場の乾燥や日射の関係から、さらに水分を失うといわれています。ところが、乾燥した車内では、出ている汗がすぐに蒸発してしまい脱水のサインを感じにくくなっています。つまり、渋滞時の車内は、気がつかないうちにかくれ脱水になる環境であり、しかも深刻な脱水状態へ進行しやすい環境でもあるのです。

**実践しましょう、脱水対策とケア**

- 麦茶などのノンカフェインドリンクやスポーツドリンクを携帯しましょう。
- 2時間に1回は15分以上休憩しましょう。
- 休憩時は全員自動車から降りて、体を動かしましょう。
- 遮熱するフィルムを貼ったり、タオルを使って日差しを遮りましょう。

一人で車を運転しなければならない時は、脱水や熱中症に気付きにくく、無理もしやすいので注意が必要です。中には、体調が万全でなくても長時間の運転をしなければならない人や、職業柄、長距離運転には慣れているという人もいることと思います。しかし、具合が悪くなって交通事故を起こしてからでは遅いです。油断と無理は禁物です。